

# 令和4年度事業報告

事業名	事業内容等
公1： キジ保護管理	①放鳥用のキジが入手困難となったため、事業を休止した。 ②キジの天敵を捕獲のためキツネ57頭、タヌキ247頭、テン4頭の合計308頭を狩猟により捕獲。
公2： 鳥獣保護管理の 担い手確保	①狩猟免許試験予備講習会を県から受託し3回開催。網猟4名、わな猟288名、第一種銃猟153名、第二種銃猟2名、延べ447名が受講。また、県猟主催により、猟銃等初心者事前講習を6回開催、38名が受講。 ②経験の浅い51歳以上の狩猟者を対象に射撃講習及びワナの講習会を開催。また、県主催の新規狩猟者確保定着促進事業の企画会議へ若手狩猟者の派遣、捕獲の担い手研修会及びスキルアップ研修の講師の派遣、地域産業まつり等へのハンターブース出展などに協力した。
公3： 有害鳥獣捕獲	①有害鳥獣を県から受託し、5～10月の間に鳥類4,337羽、クマ23頭、その他獣類257頭を捕獲。安全に実施するため事故防止推進事業を実施、延べ144日2,880名が参加。 ②クマの追払い等を目的として、県、煙火協会岩手県支部と共催で、10月に煙火消費保安講習会を開催、114名が受講。 ③県主催の野生獣類市街地出没時対策会議、対応訓練に参加協力した。 ④シカの被害が深刻なうえ放射性物質の影響による出荷制限があり、狩猟による捕獲圧が減少することに対応するため、指定管理鳥獣捕獲等事業を県から受託し、シカ11,310頭、イノシシ193頭を捕獲。また、わなによる捕獲の見回りの省力化の実証捕獲として、指定管理鳥獣効果的捕獲等事業を県から受託し、遠野市内でICT(捕獲通知システム)を活用した捕獲を実施。これらの指定管理鳥獣捕獲事業を適切に実施するため、地区猟友会毎に技能知識研修、射撃訓練を実施し、更に新規従事者のために認定鳥獣捕獲等事業講習会を開催した。期間中には「早池峰周辺一斉捕獲旬間」を設け12月に重点捕獲を行い10日間で337頭を捕獲。事業終了後は山野一斉清掃活動を行い、延べ544名が参加。野生動物の死骸等の埋設などの処理や空き缶などのゴミも拾い集めた。 ⑤ニホンジカ被害防除事業(誘引捕獲)を森林管理署から受託し、宮古市、大船渡市で実施。 ⑥2月1日「カラス一斉捕獲の日」を中心に、ボランティアによるカラスの捕獲を22地区猟友会で実施。延べ50日、927名の参加で358羽捕獲。
公4：調査研究	①狩猟指導員が中心となって野生鳥獣の目撃情報や生態に関する資料を収集。豚熱感染拡大防止のため、岩手県豚熱対策協議会から受託し、豚熱経ロクチンの野外散布、回収を実施。 ②豚熱感染の状況把握のため、県から受託し、捕獲イノシシから407検体を採取し提出。 ③放射性物質の影響を調査するため、県から受託し、ヤマドリ21羽を捕獲し個体のデータ及び試料を提出。
公5： 捜索活動協力	①事業の内容や実施方法について検討し、関係機関と協議を継続。
収1：狩猟者登録事務等	①猟銃等火薬類無許可譲受票の交付事務を行った。
他1：広報活動	①会員、関係機関向けに会報を発行。ホームページの更新を行った。
他2：地区猟友会活動支援	①9月に花巻市内で会長・事務担当者会議を開催し意見交換を行った。 ②6月の定時総会において、表彰を行った。
他3：適正狩猟	①狩猟指導員による狩猟期間中のパトロール指導や各地区の研修会等での指導を実施。各種指導員による安全狩猟指導、射撃訓練指導等を行った。また、狩猟指導員研修会を開催した。 ②若手狩猟者定着促進のため青年部による活動を支援し、総会、射撃交流会、わな製作実技講習会を開催し、安全な操作技術の向上などについて学習をしながら交流を深めた。更に、女性会員のための射撃・わな講習や巻き狩り体験会を開催し、意見交換も行った。 ③県外狩猟者登録事務を県から受託、併せて射撃訓練の励行をお願いした。 ④7月31日宮古指定射撃場で安全狩猟射撃大会を開催し80名参加。東北北海道ブロック安全射撃大会へ代表選手4名を派遣した。
他4：記念事業	①令和6年度設立60周年記念事業開催に向けて、記念事業積立を行った。